

第3学年2組 学級活動（1）指導案

令和5年6月26日（月）第5校時

指導者

児童数

30名

1 議題「ひろかさんのお別れ会をしよう」

2 議題について

（1）児童の実態

本学級の児童は、明るく活発で、休み時間には、男女仲良く元気に校庭で遊ぶ姿が多く見られる。その反面、友達と些細なことでもトラブルになって、お互いに譲り合えず、解決まで時間がかかってしまったりすることがある。

はじめての学級会では、1学期がんばろう会をしようの議題で話し合いを行った。クラスの仲を深めるために1学期にがんばりたい行事のピザと爆弾ゲームを行うために協力して準備を行った。活動の結果、会は盛り上がり、全体としてはクラスの仲もより深まった。しかし、勝ちにこだわり過ぎる児童もいた。

学級活動の話合いの進め方については、2年生までの経験からほとんどの児童が理解している。課題としては、「何をやるか」では学級会ノートに良い意見を書いてはいるものの、発表することに消極的な児童がいる。また、自分の意見に固執してしまい、うまく折り合いをつけられずに、話合いの難しさを感じている児童もいる。

（2）議題選定の理由

本議題の他に、「1学期頑張ったね会」をやりたいという提案もあったが、1学期末に転出する児童のためのお別れ会をしたいという思いが多く児童にあり、本議題に決定した。

本議題では、転校する友達と共に楽しい時を過ごすために、又、クラスの絆を深めるために「何をやるか」、思い出に残る会にするために「どんな工夫ができるか」、そのために「必要な役割」という3点について話し合う。転校する友達へ思いやりを持って考え、自分の意見との相違に着目しながら聞き、自分の意見に固執せず、折り合いをつけながら積極的に話し合いをさせたい。

協力して計画を立て、実践することを通して、学級内の人間関係を深めるとともに、自分たちの力でよりよい学級生活をつくっていかうとする自治的能力や自主的、実践的な態度を高めていきたい。

3 研究主題との関わり（目指す児童像とつけたい力及び目指す児童像に迫る手立て）

研究主題

心豊かに生きる ～より良い人間関係を築く力の育成～

【目指す児童像】

計画・司会・進行	発表	聞く
自分たちで協力して活動計画を作り、司会など自分の役割を果たしながら進行することができる子	理由を明確にして意見を言うことができる子	自分とは異なる意見を受け入れ、楽しい学級生活のために合意形成を図ることができる子

【つきたい力】

計画・司会・進行	発表	聞く
<ul style="list-style-type: none"> 自分たちで活動計画を作る 司会など自分の役割を果たす 	<ul style="list-style-type: none"> 理由を明確にして意見を言う 	<ul style="list-style-type: none"> 自分とは異なる意見を受け入れる 楽しい学級生活のために合意形成を図る

【目指す児童像に迫る手だて】

<計画・司会・進行>

- ・ 司会台本を用意し、話合いの流れや時間などについて確認するよう助言しておくことで、児童が学級会当日の話合いを、自信をもって進めていくことができるようにする。
- ・ 計画委員の事前の活動の流れを掲示して、共有する。

<発表>

- ・ 議題に対する自分の考えを明確にして、個人的な趣味や好みだけにとらわれず、広い視野で発言できるようにする。
- ・ 学級会ノートに励ましの言葉を記入し、自信を持って発表できるようにする。
- ・ 反対意見を言う際には、折衷案や代替案を考えながら発表させる。

<聞く>

- ・ 友達の話の途中には話さないなど、基本的な姿勢を身につけさせるために日頃から指導する。
- ・ 友達の多様な意見のよさを見つけたり、受け入れたりできるようにする。

4 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。	楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。

5 事前の活動

日時	児童の活動 ○計画委員会 ●全員の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】（評価方法）
6月12日 (月) 20分休み	○議題の選定をする。	・学級生活の充実や現在のクラスの議題に適しているかを考えさせる。	◎学校生活をよりよくするために、進んで議題を考えたり、選んだりしようとしている。 【態】（提案カード・観察） ◎お別れ会の目的に合った意見を考え、判断し、ノートに書くことができる。 【思・判・表】 (学級会ノート)
6月12日 (月) 昼休み	●議題の決定をする。	・計画委員の提案を基に全員で決定する。	
6月13日 (火) 20分休み 昼休み	○活動計画を作成する。 (提案理由・めあて・話し合うこと・役割分担) ○話し合うことをみんなに知らせる。	・提案理由に沿っためあてが考えられるようにする。 ・みんなが納得できる提案理由になるよう提案者に助言する。	
6月14日 (水) 学活の時間	●学級会ノートを記入する。	・提案者に沿った意見が考えられるよう助言する。	
6月20日 (火) 20分休み ・昼休み	○話し合いの計画を立てる。 ○全員の学級会ノートを見て、意見をまとめる。	・意見を短冊にまとめるよう助言する。 (出し合う)	
6月26日 (月) 朝の会	●教師からの言葉等が書かれた学級会ノートを受け取る。	・学級会ノートに励ましの言葉等を記入し、話し合いの意欲を高める。	

6 本時の展開

(1) 本時のねらい

友達の意見をよく聞き、自分の意見を見つめ直しながらかし合することができる。

(2) 児童の活動計画

第 3 回 学級活動計画書			
ぎ だ い	ひろかさんのお別れ会をしよう		
ていあん者	金令木理人さん		
ていあん理由	これまで、毎月かんぱろう会で高カして楽しく遊ぶことができた は、ひろかさん、大の字本で、このお別れ会は、学 其もかんぱることを かう。		
決まっている こ と	7月18日(火)学女室(予定)ゲーム1つくらい ゲーム以外 1つくらい(手紙は書く)		
話 合 い の め あ て	ひろかさんも みんなもえがおになり、思い出にのこるような おみやげや工夫を考えよう。		
やくわり 分 た ん	司 会 副司会	清水さん 金令木さん	黒 板 記 録 田賀さん 菅野予さん ノート 佐藤さん 記 録
話合いのじゅんじょ	時 間	気をつけること	準 備
1 はじめの言葉	1分	大きな声ではっきり言う。	司会本
2 計画委員の紹介	1分	自分のめあてを言ってじこしようかいる。	
3 ぎだいの確認	1分		
4 ていあん理由の説明	1分	大きな声ではっきりと言う。	学級及 会ノート
5 話合いのめあての かくにん	1分	説明のあと、全員で声に出して言	
6 話し合うこと ①なにを をやるか	15分	決まっていることやていあん理由 や話合いのめあてにそった内容 はどれかを考えてもらう。	
②せりあげる工夫	10分	理由をはっきりいってもらう	
③ひつような役 割	10分	時間を守るようにする。	
7 決まったことの 発表	1分	ノートに金録係が決まったこと をはっきり発表する。	
8 ふりかえり	3分	自分と友だちのがんばったところを見つけ る。	
9 先生の話	—	大きな声ではっきりと言う。(司会)	
10 おわりの言葉	1分		

(3) 評価

- ・ みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けている。【知・技】(発言・観察)

7. 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
6月27日(火) 昼休み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 決まったことを学級会コーナーに掲示する。 ・ 必要な役割を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級会で決まったことの要点をまとめて書けるよう計画委員に助言する。 	◎準備や集会に進んで取り組もうとしている。 【態】(観察) ◎集会の目的を考え、友達と協力し責任をもって準備したり参加したりしている。 【思・判・表】 (観察・振り返りカード・感想文)
6月28日(水) 朝の会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役割分担を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 係は複数名で担当し、全員で協力して活動できるようにするため、人数配分は教師が行う。 	
6月28日(水) ～7月17日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 係ごとに協力して準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要なものや準備の内容など適宜教師が助言する。 ・ 準備の進捗状況を途中で確認し、活動の意欲の継続化を図る。 	
7月18日(火) 4校時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ひろかさんお別れ会」を行う。 		